



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月2日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東
コード番号 4323 URL <http://www.jast.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長執行役員 （氏名） 平林 武昭
問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員財務部長 （氏名） 大門 紀章 TEL 06-4560-1000
四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,544	14.1	△105	—	△95	—	△75	—
25年3月期第1四半期	2,230	9.2	0	—	9	—	△1	—

（注）包括利益 26年3月期第1四半期 △60百万円（—％） 25年3月期第1四半期 △4百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△15.90	—
25年3月期第1四半期	△0.38	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	7,992	4,316	53.2	889.77
25年3月期	8,050	4,489	55.0	929.70

（参考）自己資本 26年3月期第1四半期 4,249百万円 25年3月期 4,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年3月期	—				
26年3月期（予想）		0.00	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,867	3.7	0	—	7	△77.3	0	—	—
通期	10,900	7.5	400	27.3	450	26.4	225	33.2	47.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	5,140,130株	25年3月期	5,128,330株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	364,210株	25年3月期	364,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	4,769,375株	25年3月期1Q	4,749,610株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
5. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における、当社及び連結子会社からなる企業集団（以下「当社グループ」といいます。）の業績は、売上高25億44百万円（前年同期比14.1%増）、営業損失1億5百万円（前年同期は営業利益0百万円）、経常損失95百万円（前年同期は経常利益9百万円）、四半期純損失75百万円（前年同期は四半期純損失1百万円）と、前年同期と比較して、増収減益となったものの、概ね当初計画に沿った推移と判断しております。

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を従来の「ソフトウェア事業」、「パッケージ事業」及び「システム販売事業」の3事業区分から医療情報データの点検、分析及びその他関連サービスの販売等を行う「医療ビッグデータ事業」を加えた4事業区分に変更しております。詳細につきましては、「4. 四半期連結財務諸表（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業（受注ソフトウェアの個別受託開発）につきましては、通信業向け案件は減少いたしました。サービス・流通業、製造業及び官公庁向け案件が増加し、売上高15億24百万円（前年同期比10.5%増）、営業損失49百万円（前年同期は営業損失29百万円）の増収減益となりました。

次に、パッケージ事業（学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス）につきましては、大学向けP P（プログラム・プロダクト）販売及び導入支援は減少いたしました。E U C（End User Computing：パッケージの周辺システムの受託開発）及び保守が微増で推移した結果、売上高3億16百万円（前年同期比18.3%減）、営業損失60百万円（前年同期は営業利益67百万円）の減収減益となりました。

次に、システム販売事業（I T機器の販売及び情報通信インフラの構築）につきましては、サービス・流通業向け機器販売は減少いたしました。公共系S I（システム・インテグレーション）案件及び大学向け機器販売が共に増加し、堅調に推移したことにより、売上高6億54百万円（前年同期比44.8%増）、営業利益49百万円（前年同期比89.1%増）の増収増益となりました。

最後に、当第1四半期連結会計期間より区分追加いたしました医療ビッグデータ事業（医療情報データの点検、分析及び関連サービス）につきましては、レセプト自動点検サービスに加え、通知サービス及びデータ分析等のサービス拡充により、保険者との契約を着実に伸ばした結果、売上高48百万円（前年同期比308.6%増）、営業損失45百万円（前年同期は営業損失63百万円）の増収増益となりました。

（当社グループの四半期業績の特性）

当社グループの事業であるソフトウェア、パッケージ、システム販売及び医療ビッグデータの特性といたしましては、顧客の検収時期が多く企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期連結会計期間の収益は、第2、第4四半期連結会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は58億75百万円（前連結会計年度末比2億55百万円減）となりました。これは主として短期借入金等に伴う現金及び預金の増加並びに前連結会計年度末の売上案件の入金に伴う売掛金の減少の増減の結果であります。また、固定資産の残高は21億17百万円（同1億98百万円増）となりました。これは主として長期預金の預入による増加及び投資有価証券の取得による増加であります。

次に、流動負債の残高は23億18百万円（同1億23百万円増）となりました。これは主として短期借入金及び前受金の増加並びに法人税の支払による減少の増減の結果であります。また、固定負債の残高は13億57百万円（同8百万円減）となりました。

最後に、純資産の残高は43億16百万円（同1億72百万円減）となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の状況は、期首の資金残高16億9百万円より10億29百万円増加し、26億39百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、7億23百万円の収入（前第1四半期連結累計期間は6億49百万円の収入）となりました。この差額は主として売上債権及びたな卸資産による増加、仕入債務及び前受金による減少の増減の結果であります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、1億67百万円の収入（同73百万円の支出）となりました。この差額は主として定期預金の払出及び差入保証金の回収による増加並びに投資有価証券の取得による減少の増減の結果であります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億35百万円の収入（同1億17百万円の支出）となりました。この差額は主として短期借入金による増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による東日本大震災の復興事業の加速、デフレからの早期脱却や経済再生に向けた政策への期待感から円安・株高が進行し、企業収益や個人消費の一部に回復の兆しがみられますが、欧州を中心とした世界経済の減速懸念など、国内景気の押し下げリスク要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

国内IT産業につきましては、直近の統計（経済産業省、特定サービス産業動態統計5月確報）において、売上高前年同月比のプラス傾向を維持しており、業界全体としては回復基調で推移しておりますが、上で述べたように景気の先行きは不透明な状況を背景に、回復力はまだまだ脆弱であると認識しております。

このように足元はまだまだ厳しい状況ではありますが、当社グループにおきましては年度当初に掲げた重点施策を着実に実行し、業績計画の達成を図りたく考えております。なお、事業別には以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業においては、東京、大阪の各本社の地域別事業体制を推進しており、東京本社ではビッグデータビジネスの本格化を狙い2事業部体制に再編し、大阪本社では新規ソリューションの企画・提案部門を新設することにより、引き続き収益基盤の強化並びに提案型営業の推進に取り組み、業績の継続拡大を実現する所存です。これに加え、新ビジネスの本格事業化をより強力に推進し、新たな収益の柱を築くことに注力するため、金融関連部門は地域別3部制に再編しております。

次に、パッケージ事業においては、関東圏及び関西圏にそれぞれ独立して設置した事業部を中心に、各地域に密着して強力にシェア拡大を図るとともに、情報端末やホスティングサービスなど最新の文教ITサービスを提供してまいります。加えて、主力プロダクトの次世代製品の開発並びに更なる新ビジネスの具体化にも本格的に着手し、学校業務改革パッケージ「GAKUEN」を、文教市場において圧倒的ブランドとして広く認められるよう引き続き取り組んでまいります。

次に、システム販売事業につきましては、SEサービス等高収益分野の主要顧客の拡大及び新規顧客の獲得に注力するとともに、クラウド技術を利用した新ソリューションの立上げ等、新たなビジネス基盤構築にも取り組み、業績の継続拡大を図ります。

最後に、医療ビッグデータ事業につきましては、事業部長を専任化するとともにアドバイザー機能充実のため担当顧問を設置し、独立事業として業績に寄与するよう取り組んでまいります。

これらを踏まえ平成26年3月期の連結業績予想は平成25年5月10日付の当初発表どおり、売上高109億円（前連結会計年度比7.5%増）、営業利益4億円（同27.3%増）、経常利益4億50百万円（同26.4%増）、当期純利益2億25百万円（同33.2%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,938,177	3,701,876
受取手形及び売掛金	2,337,520	1,406,809
商品及び製品	145,160	94,052
仕掛品	291,906	306,599
原材料及び貯蔵品	3,112	3,329
繰延税金資産	194,068	274,958
その他	224,350	89,972
貸倒引当金	△3,056	△2,064
流動資産合計	6,131,241	5,875,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	550,476	550,476
減価償却累計額	△232,452	△241,591
建物及び構築物（純額）	318,024	308,884
土地	142,361	142,361
その他	240,953	243,844
減価償却累計額	△144,711	△153,625
その他（純額）	96,242	90,218
有形固定資産合計	556,627	541,465
無形固定資産		
のれん	35,338	33,259
ソフトウェア	18,563	25,113
その他	7,189	7,189
無形固定資産合計	61,091	65,563
投資その他の資産		
投資有価証券	233,938	342,501
長期貸付金	2,694	2,694
繰延税金資産	245,413	242,307
差入保証金	329,950	330,251
前払年金費用	115,869	119,728
その他	433,876	533,244
貸倒引当金	△60,549	△60,599
投資その他の資産合計	1,301,192	1,510,128
固定資産合計	1,918,912	2,117,156
資産合計	8,050,153	7,992,691

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901,615	470,095
短期借入金	17,309	267,392
1年内返済予定の長期借入金	2,400	2,400
未払法人税等	154,452	64,785
賞与引当金	383,366	233,155
役員賞与引当金	24,829	12,021
その他	710,917	1,268,694
流動負債合計	2,194,889	2,318,546
固定負債		
長期借入金	4,200	3,600
退職給付引当金	888,617	871,480
役員退職慰労引当金	397,697	404,855
その他	75,209	77,446
固定負債合計	1,365,724	1,357,382
負債合計	3,560,614	3,675,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	924,223	927,705
資本剰余金	885,862	889,344
利益剰余金	2,865,993	2,671,065
自己株式	△266,494	△266,539
株主資本合計	4,409,584	4,221,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,414	39,767
為替換算調整勘定	△14,720	△11,870
その他の包括利益累計額合計	19,694	27,896
新株予約権	984	972
少数株主持分	59,275	66,317
純資産合計	4,489,539	4,316,762
負債純資産合計	8,050,153	7,992,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	2,230,730	2,544,482
売上原価	1,787,796	2,161,278
売上総利益	442,933	383,204
販売費及び一般管理費	442,510	489,063
営業利益又は営業損失(△)	423	△105,859
営業外収益		
受取利息	2,992	2,833
受取配当金	2,163	1,164
受取賃貸料	3,845	4,000
その他	2,492	6,100
営業外収益合計	11,494	14,098
営業外費用		
支払利息	267	401
賃貸費用	2,322	2,334
その他	295	791
営業外費用合計	2,885	3,526
経常利益又は経常損失(△)	9,032	△95,287
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,032	△95,287
法人税等	11,519	△21,560
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,487	△73,726
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△701	2,096
四半期純損失(△)	△1,786	△75,823

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,487	△73,726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,620	5,352
為替換算調整勘定	3,784	7,649
その他の包括利益合計	△1,836	13,001
四半期包括利益	△4,323	△60,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,075	△67,621
少数株主に係る四半期包括利益	1,751	6,895

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,032	△95,287
減価償却費	10,096	17,833
ソフトウェア償却費	2,305	2,554
のれん償却額	—	2,078
賞与引当金の増減額(△は減少)	△180,968	△150,210
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,002	△18,110
前払年金費用の増減額(△は増加)	2,359	△3,859
受取利息及び受取配当金	△5,155	△3,997
支払利息	267	401
売上債権の増減額(△は増加)	406,554	932,030
前受金の増減額(△は減少)	375,965	245,578
たな卸資産の増減額(△は増加)	△147,247	36,758
仕入債務の増減額(△は減少)	△118,087	△431,639
その他	450,017	326,048
小計	811,142	860,177
利息及び配当金の受取額	6,012	4,756
利息の支払額	△267	△401
法人税等の支払額	△167,404	△140,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	649,483	723,550
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△4,124	172,012
有形固定資産の取得による支出	△1,414	△813
投資有価証券の取得による支出	△449	△100,252
差入保証金の差入による支出	△65,872	△354
差入保証金の回収による収入	580	106,818
資産除去債務の履行による支出	△1,672	—
その他	△788	△9,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,741	167,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,401	248,863
長期借入金の返済による支出	—	△600
株式の発行による収入	3,146	6,952
自己株式の取得による支出	—	△44
配当金の支払額	△118,689	△119,104
その他	△60	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,005	135,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	329	2,355
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	459,066	1,029,517
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,704	1,609,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,474,770	※1 2,639,479

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	1,379,352	387,527	452,014	11,835	2,230,730	—	2,230,730
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	16,569	—	16,569	△16,569	—
計	1,379,352	387,527	468,584	11,835	2,247,300	△16,569	2,230,730
セグメント利益 又は損失(△)	△29,554	67,314	25,950	△63,285	423	—	423

(注) 1. セグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	1,524,837	316,710	654,569	48,365	2,544,482	—	2,544,482
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,168	—	14,540	—	17,708	△17,708	—
計	1,528,005	316,710	669,110	48,365	2,562,191	△17,708	2,544,482
セグメント利益 又は損失(△)	△49,328	△60,157	49,070	△45,444	△105,859	—	△105,859

(注) 1. セグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントの事業区分は「ソフトウェア事業」、「パッケージ事業」及び「システム販売事業」の3事業区分に分類していましたが、当第1四半期連結会計期間から、セグメント情報に与える金額的重要性が増したことから、グループ内の管理手法を変更し、「医療ビッグデータ事業」(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)を報告セグメントとして開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

5. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

当第1四半期連結会計期間より、「4. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、報告セグメントの区分を変更しております。なお、前年同四半期比につきましては、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後の区分に基づき算定し比較しております。

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア事業(千円)	1,267,503	108.9
パッケージ事業(千円)	271,986	116.7
システム販売事業(千円)	556,846	153.0
医療ビッグデータ事業(千円)	64,941	239.6
合計(千円)	2,161,278	120.9

- (注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業(千円)	1,531,721	118.0	1,349,084	130.6
パッケージ事業(千円)	345,673	68.3	441,567	72.1
システム販売事業(千円)	823,771	182.7	308,247	58.3
医療ビッグデータ事業(千円)	42,478	27.6	268,773	172.4
合計(千円)	2,743,645	113.9	2,367,673	101.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア事業(千円)	1,524,837	110.5
パッケージ事業(千円)	316,710	81.7
システム販売事業(千円)	654,569	144.8
医療ビッグデータ事業(千円)	48,365	408.6
合計(千円)	2,544,482	114.1

- (注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
ネクセリア東日本㈱	—	—	204,980	8.1
エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本㈱	312,784	14.0	147,038	5.8
㈱ダスキン	157,859	7.1	146,607	5.8

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。